

小山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	現代社会と倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0031		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	『テオーリア 最新倫理資料集』第一学習社						
担当教員	上野 哲						
到達目標							
1. 哲学者・倫理学者の認識論をもとに、自分自身の価値観や常識を批判的に見つめ直すことができる。 2. 民主主義の特性と公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。 3. 先哲の思想を手がかりにして、現代社会における自己の生き方及び他者との共存の重要性について考えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	1. 哲学者・倫理学者の認識論をもとに、自分自身の価値観や常識を批判的に見つめ直すことが充分にできる。		1. 哲学者・倫理学者の認識論をもとに、自分自身の価値観や常識を批判的に見つめ直すことができる。		1. 哲学者・倫理学者の認識論をもとに、自分自身の価値観や常識を批判的に見つめ直すことができない。		
評価項目2	2. 民主主義の特性と公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて充分理解できる。		2. 民主主義の特性と公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。		2. 民主主義の特性と公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できない。		
評価項目3	3. 先哲の思想を手がかりにして、現代社会における自己の生き方及び他者との共存の重要性について考えることが充分にできる。		3. 先哲の思想を手がかりにして、現代社会における自己の生き方及び他者との共存の重要性について考えることができる。		3. 先哲の思想を手がかりにして、現代社会における自己の生き方及び他者との共存の重要性について考えることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ①							
教育方法等							
概要	倫理学の基本原理及び認識論の考え方とその批判的考察に焦点をあて、民主主義社会における多様性尊重の実現に向けた主体的な関わり方を模索する。						
授業の進め方・方法	達成目標 1～3 について、前期後期それぞれに実施する「前期定期試験」及び「後期中間試験」「後期定期試験」（計3回）において、60%以上の得点により達成とする。						
注意点	特になし。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	現代社会における倫理問題の解法		左記内容を理解する		
		2週	現代社会における倫理的思考の道具		左記内容を理解する		
		3週	倫理学の2大基本原理		左記内容を理解する		
		4週	民主主義と功利主義		左記内容を理解する		
		5週	規則功利主義と行為功利主義		左記内容を理解する		
		6週	基本的人権と義務論		左記内容を理解する		
		7週	自己決定とパターンリズム		左記内容を理解する		
		8週	絶対主義と相対主義		左記内容を理解する		
	2ndQ	9週	プラトンによるイデア論		左記内容を理解する		
		10週	カントによる物自体		左記内容を理解する		
		11週	ヘーゲルによる「事実」と「ウソ」		左記内容を理解する		
		12週	デカルトによる物心二元論		左記内容を理解する		
		13週	イギリス経験論と大陸合理論		左記内容を理解する		
		14週	和辻哲郎による相対的自分と絶対的自分		左記内容を理解する		
		15週	ニーチェによる運命論と必然性		左記内容を理解する		
		16週	前期まとめ		左記内容を理解する		
後期	3rdQ	1週	現代社会における「時間」の謎		左記内容を理解する		
		2週	「存在」と「時間」		左記内容を理解する		
		3週	ゼノンによるパラドクス		左記内容を理解する		
		4週	デモクリトスによるパラドクス		左記内容を理解する		
		5週	デモクリトスによる原子論		左記内容を理解する		
		6週	カントとポアンカレによる宇宙仮説		左記内容を理解する		
		7週	空間の次元性		左記内容を理解する		
		8週	多様性尊重のために（1）－矛盾の共存－		左記内容を理解する		
	4thQ	9週	多様性尊重のために（2）－主客対置と意識の問題－		左記内容を理解する		
		10週	多様性尊重のために（3）－他我問題Ⅰ－		左記内容を理解する		
		11週	多様性尊重のために（4）－他我問題Ⅱ－		左記内容を理解する		
		12週	多様性尊重のために（5）－「みなし」構造－		左記内容を理解する		

		13週	多様性尊重のために（６）－概念と実存の優位性－	左記内容を理解する			
		14週	多様性尊重のために（７）－先入見は排除できるか－	左記内容を理解する			
		15週	後期まとめ	左記内容を理解する			
		16週	全体まとめ－現代社会における自己実現－	左記内容を理解する			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民的分野	自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3		
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3		
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0